



11月下旬、2学年の「総合実践」では、全6クラスで郵便局（豊島西部会）の方をお迎えしてプレゼンテーション発表をおこないました。この発表は12月14日に生徒たちが日本郵政/日本郵便の方へ『SDGsの視点から郵便局との連携についての提案』についてプレゼンテーション発表を行うクラス代表を決めるものでした。前回までのワークショップ等で、郵便局の講師の方からアドバイスをしてもらったりして、ブラッシュアップを重ねてきました。そして、その成果を十分に発揮し発表をすることができました。発表後、各クラス2グループ、計12グループが全体会の代表に選ばれました。全体会は発表時間を5以内と決められているので、時間内で自分たちの取り組み案をしっかりと説明できるよう準備をして発表に臨んでもらいたいです。また、惜しくもクラス代表になれなかった生徒たちは、来年度も「総合実践」の授業では、日本郵政/日本郵便と連携した取り組みを続けていくので、2学年の授業で身につけた探究のプロセス（課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）を3学年の授業でも活かしてもらいたいと思います。

今回、発表を聞いている生徒たちは、新しい試みとして、Formsを活用して他のグループを採点しました。「課題が明確になっているか」や「わかりやすい内容であったか」など、発表内容や態度について各自で投票をおこないました。

